



第9回核融合エネルギー連合講演会 —地球を救うエネルギー 核融合の未来— 一般講演(ポスター発表)募集

核融合連合講演会として親しまれてきた本講演会は、平成7年より核融合エネルギー連合講演会と名を改め、核融合エネルギーの研究開発に関する広範囲な議論を展開し、研究開発における炉心プラズマや核融合炉工学、製造技術など関連科学技術の総合化に向けた理解を深める場として、また核融合エネルギーの位置づけや展望についての最新情報を社会に発信するなどの役割を果たしてきました。このたび、第9回核融合エネルギー連合講演会を(社)日本原子力学会と(社)プラズマ・核融合学会とが、関連学協会の共催及び後援を得て、下記の要領で開催いたします。

今日、世界的規模でのエネルギー消費増加に起因する地球温暖化に対処するために、クリーンエネルギーによる低炭素社会の実現が叫ばれており、エネルギー供給に対する世界的な構造改革が求められております。また、我が国においては、東日本大震災による原子力発電所の過酷事故を受けて深刻なエネルギー問題に直面しており、これまで以上に安心安全なクリーンエネルギーの開発が期待されております。

恒久的でクリーンなエネルギーの実現は、資源に乏しい我が国のみならず、地球人類の悲願であり、我々核融合コミュニティは、核融合エネルギーの早期供給を使命とし、研究開発活動を強く推し進めています。国際協力による核燃焼プラズマの実証と炉工学技術の統合をめざすITERプロジェクトの推進と、平行して進められる幅広いアプローチ活動と付随した工学開発や、原型炉に向けたロードマップの提案とそれに続く概念設計、炉工学研究によりまして、世界的な連携の下でのエネルギー開発という今日的意義に答えるべく、着実にそのミッションを推進しております。

我々はこの「地球を救うエネルギー」である核融合エネルギー開発をさらに加速させるため、これらの研究開発に対する社会への説明を行い、その理解と信頼を得る必要がありますが、本講演会は核融合エネルギーの研究開発に対する国民各位のご理解をより確かなものにする絶好の機会であると考えております。

関係者一同、多数の皆様のご参加を得て、活気ある討論を展開したいと心から念じております。各位のご理解とご協力をここに衷心よりお願い申し上げます。

(社)日本原子力学会・核融合工学部会

部会長 堀池 寛

1. 会 期：2012年6月28日(水)-6月29日(木)
2. 会 場：神戸国際会議場（兵庫県神戸市）
3. 講演申込期限

Webによる受付締切；2012年3月30日(金)昼12:00

- ・一般講演申込は、原則としてWebで受け付けます。
【Web講演申込記入上の注意】に従って、期限までに申し込んでください。どうしてもWebからのお申し込みができない場合は、申込用紙（事務局までお問合せください）を2012年3月29日(木)17:00本会必着でご郵送ください。
- ・Webでの申し込みは上記締切期限を過ぎますとアクセスできなくなりますのでご注意ください。
- ・Web登録が受け付けられると、登録完了画面が表示され、受付番号を記載した電子メールが連絡代表者に送られます。この電子メールが届かない場合は正常に登録さ

れていないことが考えられますので、その場合には3月19日(金)までに必ず事務局までご連絡ください。

- ・発表の可否、講演番号は5月初め頃、電子メールでお知らせします。
- ・講演申込で登録された登壇者名、講演題目がそのままプログラムに記載されます。受付・締切後はこれらの項目の変更は認められません。
- ・やむを得ず当日に講演できなくなった場合には、速やかに事務局に連絡してください。

4. 講演予稿集について

Webによる講演予稿原稿提出期限：2012年5月25日(金)

- 【予稿原稿作成上の注意】に従って、必ず期限までに予稿原稿を提出してください。
- ・予稿原稿は原則としてWebページから送信してください

い。どうしても Web から送信できない場合には、予稿原稿を紙に印刷し、2012年5月24日(木)17:00必着で、事務局宛に郵送願います。なお、FAX、電子メールへの添付による提出は受け付けません。

- ・提出期限後においては、すでに提出された予稿原稿の内容書き換えあるいは掲載取り下げは認められません。
- ・6月13日(月)以降にすべての予稿を Web ページ上で公開いたします。ただし、予稿を閲覧する際には、予稿原稿受理通知の Web ページでお知らせするパスワードの入力が必要です。なお、講演なしで参加を予定されている方にも参加事前登録をしていただきますので、その登録終了画面にてパスワードをお知らせします。
- ・予稿は冊子体では配布いたしません。予稿は Web ページから、必要に応じてダウンロードするなどしてご利用ください。
- ・5月号会誌と同送いたします「プログラム冊子」は、講演会ご参加の際、各自で必ずお持ちください。会場での配布はいたしません。

5. ポストデッドライン(PD)講演

- ・講演申し込み締切後に、有意義でかつ緊急に発表する価値があると認められる結果が得られた場合には、ポストデッドライン講演として申し込むことができます。
- ・Web ページでの指示に従い、6月11日(月)～6月15日(金)17時までに事務局まで所定の内容を電子メールで送信してください。
- ・申し込み内容は事前に審査され、6月20日(木)までに採択結果を通知します。
- ・審査の結果、発表が認められない場合もあります。

6. 講演者の資格

- ・主催学会（プラズマ・核融合学会・日本原子力学会）ならびに、共催学協会の会員。（詳細は Web 参照）

7. 一般講演の制限

- ・講演の代表として一人一件に限ります。

8. 一般講演の発表形式

- ・ポスター発表。

9. 講演募集分野

連合講演会の趣旨にそったもので、以下に記す分野において最近行われた研究の紹介、トピックスのミニレビューなど、学術的に価値のあるものに限ります。

- ・一般講演募集分野：

A) 磁場閉じ込めプラズマ, B) 慣性閉じ込めプラズマ・ドライバー, C) プラズマ診断, D) 加熱・電流駆動装置, E) 炉システム設計・超伝導マグネット・第一壁など, F) 炉材料, G) トリチウム・ブランケット, H) プラズマ基礎・応用, I) 理論・シミュレーション, J) ITER および BA, K) その他関連研究

10. 参加登録および参加費

- ・講演を申し込まれる方、参加のみされる方、いずれの場合も Web ページ <http://www.aesj.or.jp/~9rengo/> よりご登録ください。登録期限 5月25日(金)。
- ・参加費は事前銀行振り込みか当日会場にて現金払いと成ります。詳細は Web を参照ください。
- ・オンライン登録がお済みでも、期日までに払い込みいただけない場合は「割増料金」が適用されますのでご注意ください。事務処理の効率化を図るため、本講演会への参加申し込みは原則として事前登録とさせていただきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。
- ・参加費は、主催学会ならびに共催学協会の正会員6,000円、非会員7,000円、学生会員3,000円、学生非会員3,500円です。払込期限の6月15日以降は、上記参加費に一律1,000円の増し料金が付加されます。尚、クレジットカードのお取り扱いは行っておりません（当日受付を含む）。
- ・いったん払い込まれた参加費は返金いたしません。

11. 懇親会

講演会初日、6月28日(木)夕刻、会場隣のポートピアホテルにおいて懇親会を行います。お誘い合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。参加費は一般5,000円、学生2,000円を予定しています。詳しくは Web ページをご覧ください。

12. 優秀発表賞

- ・本講演会では、若手研究者をエンカレッジするために、若手ポスター発表者の中から、特に優秀と認められた方々に優秀発表賞を授与します。
- ・本賞の対象となるのは、2012年6月28日現在で、35才以下かつ学位取得後5年以内の方です。学位未取得の大学院学生も含まれます。
- ・一般講演申し込み時にエントリーしてください。
- ・受賞者は、審査員の審査を経て選考委員会で決定されます。
- ・受賞者発表と授賞式は、本講演会の最後に行う予定です。

13. 連絡先

第9回核融合エネルギー連合講演会 事務局

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-6

大阪大学レーザーエネルギー学研究センター

e-mail: rengo2012@ile.osaka-u.ac.jp Tel: 06-6879-8703

*最新の情報は講演会 Web ページにてご確認ください。

<http://www.aesj.or.jp/~9rengo/>

■Web 講演申込記入上の注意

下記 Web サイト内のオンライン申し込みページからご登録ください。セキュリティ確保のためご登録に際しアクセスキーを入力していただきます。一般講演応募のアクセスキーは「rengo9」です。

*オンライン申し込み Web サイト：

<http://www.aesj.or.jp/~9rengo/>

一般講演登録用アクセスキー：rengo9

- ・講演申し込み内容の中には省略できないものがあります。その場合、注意画面が出ますので指示に従ってください。
- ・講演分野の欄には一般講演分野細目に付した番号を記入してください。
- ・下記の例を参考にキーワードを3つまで記入してください。
- ・連絡代表者の方を記入する氏名欄と著者を記入する氏名欄があります（連絡代表者は原則として登壇者となります）。後者には登壇者を含む全員のお名前をご記入ください。
- ・講演内容要旨はプログラム編成上の参考としますので、十分に内容がわかるように記述してください。
- ・講演申し込み時に講演受付番号をお知らせいたします。訂正、確認の際に必要になります。

キーワードの例（英語でもよい）：

- ・カオス，渦・径電場，輸送障壁・MHD安定性，電流駆動・SOL，プラズマシース，熱流・爆縮，R-T不安定性，照射一様性・イオン温度，レーザー散乱，データ処理・材料損傷，スパッタリング，ダイバータ・ヘリコンプラズマ，成長速度，膜質 など

■予稿原稿作成上の注意

講演予稿原稿を下記の要領にて作成してください。Webページには原稿見本を用意しています。

- ・予稿原稿はA4縦長サイズ用紙に上下左右各15mmの余白をおいて作成してください。
- ・一般講演は、1ページ以内、その他のオーバービュー講演、レビュー講演、招待講演、特別講演、特別企画、シンポジウム等での発表者は2ページ以内で作成してください。
- ・枠内左上隅の指定位置に学会事務局から通知された講演番号を記入してください。
講演題目は中央揃えにして一行目から書いてください。
予稿原稿の講演題目は講演申込時のものと必ず同一にしてください。
- ・講演題目（和文および英文）の下に著者名および所属略称（和文および英文）を書き、1行以上の空行をおいた上で本文を書き出してください。
- ・著者が多い場合、英文著者名の記載を5名程度とし後はet al.にしてもかまいません。
図表および写真は原稿内にそのまま貼り付けてください。
Webから送信される場合は必ずPDFファイルとして作成してください。

新定款記事の訂正

会員各位殿

プラズマ・核融合学会理事会

すでにお知らせしていますように、当学会は平成24年4月1日に「一般社団法人 プラズマ・核融合学会」に移行する予定です。その新しい定款を、プラズマ・核融合学会誌 Vol.88, No.1に掲載いたしました。この条文の中で、誤りがありましたので以下のように訂正いたします。

プラズマ・核融合学会誌 Vol.88, No.1 79ページ。附則4。

誤：「・・・，一般社団法人の設立の登記を行ったときは、第44条の規定にかかわらず、・・・」

正：「・・・，一般社団法人の設立の登記を行ったときは、第43条の規定にかかわらず、・・・」

以上。